

**2025年10月入学及び2026年4月入学
大学院融合理工学府（博士前期課程）入学試験
専門科目 出題趣旨説明書**

| | | | |
|------|-----|------|---|
| コース名 | 建築学 | 問題番号 | 1 |
|------|-----|------|---|

出題の趣旨

1-1

建築史の学部レベルの一般的な教科書から得られる基礎知識をもとに、古代から近代の歴史的建築にかかる歴史上の位置付けに関する理解度とそれを説明する能力を図るための設問を作成した。様々な時代の歴史的建造物の類型と建築における構成や構造の発展過程について、知識と理解力をみる。

1-2

都市計画分野に関して、博士前期課程における都市計画系授業科目の内容理解に必要な、専門用語や法規に関する基礎知識と都市計画分野の文献読解能力を問う。

- (1) は専門用語や法規に関する基礎知識に関する文章の正誤を問う問題である。
- (2) は専門用語や法規に関する基礎知識を記述する問題である。
- (3) は都市計画分野の文献読解能力を問う問題である。

**2025年10月入学及び2026年4月入学
大学院融合理工学府（博士前期課程）入学試験
専門科目 出題趣旨説明書**

| | | | |
|------|-----|------|---|
| コース名 | 建築学 | 問題番号 | 2 |
|------|-----|------|---|

出題の趣旨

2-1

群集制御に関する基礎的理解を確認する問題である。(1)は待ち行列理論の定常式に含まれる記号や概念の理解を問う。(2)はその定常式を用いた基本的な計算力を確認する。(3)は実際の建築計画への応用可能性とその際の留意点を考察する力を問う。

2-2

公共施設再編に関わる課題をまとめる問題で、建築計画の知識を問う。(1)は公共施設再編の具体的な手法と課題を問う問題、(2)は公共施設再編の効果的な計画手法・プロセスを具体的な事例を使って提案する問い合わせである。

2-3

建築設計に求められる基礎的な知識および技能を確認する問題である。既存の戸建住宅における問題点を抽出し、適切な改善方法と魅力ある空間を提案する。(1)は自身の提案の魅力を理論的に伝える説明力を問う。(2)平面図や断面図、透視図などの建築設計に必要な基本技能の確認と、提案の新規性などの企画力を問う。

**2025年10月入学及び2026年4月入学
大学院融合理工学府（博士前期課程）入学試験
専門科目 出題趣旨説明書**

| | | | |
|------|-----|------|---|
| コース名 | 建築学 | 問題番号 | 3 |
|------|-----|------|---|

出題の趣旨

[3]-1

光環境及び音環境に対する基本的な知識の理解度を用語の説明及び関連する計算式等を問うことで確認する。

[3]-2

温度差換気による換気量を計算させることで、換気の原理の理解度を確認する。また、それによる室温維持に必要な熱量を計算させることで、室温維持の構造の理解度を確認する。

[3]-3

ヒートポンプや空調機の容量及び稼働制御に関する計算問題により、空調設備の基本となる熱処理の考え方と省エネルギー対策の理解度を確認する。

[3]-4

建築環境・建築設備における各分野の正誤問題により、この分野における基礎知識の習熟度及び最新の社会動向の知識を確認する。

**2025年10月入学及び2026年4月入学
大学院融合理工学府（博士前期課程）入学試験
専門科目 出題趣旨説明書**

| | | | |
|------|-----|------|---|
| コース名 | 建築学 | 問題番号 | 4 |
|------|-----|------|---|

出題の趣旨

4-1

構造力学の問題で、片持ち梁の曲げモーメントとたわみを求める基礎的問題に加え、不静定梁のモーメント分布とたわみを求める問題を含めた。力の釣合いから断面力を導けること、たわみの計算方法を理解していること、変位の適合条件などを用いて不静定構造物の断面力とたわみを導けることを問うこととした。

4-2

建築振動論の問題で、まず非減衰の構造物の固有周期に関する基礎知識を問い合わせ、次に減衰定数と粘性減衰係数の関係および減衰振動周期を問う問題を含めた。また自由振動の式および初期条件が与えられた場合の振動曲線を描かせて、振動論の理解度を問うこととした。

**2025年10月入学及び2026年4月入学
大学院融合理工学府（博士前期課程）入学試験
専門科目 出題趣旨説明書**

| | | | |
|------|-----|------|---|
| コース名 | 建築学 | 問題番号 | 5 |
|------|-----|------|---|

出題の趣旨

5-1

鉄筋コンクリート造の部材について、構法、使用材料、荷重を受けたときの部材の損傷や耐力計算に関する知識を問う。出題範囲は鉄筋コンクリート構造や一般的な建築構法に関する学部レベルの講義内容に準じている。

5-2

鉄骨構造の要である柱脚の固定形式に関する知識を問う。鉄骨構造や一般的な建築構法に関する学部レベルの講義内容に準じている。

5-3

建築物に作用する荷重外力を設計時にどのように評価しているかの基礎知識を問う。建築構造に関する学部レベルの基礎的な素養が身についているかどうかを確かめるものである。